

デジタル文化財が果たす 役割と未来像

22.07.2011
青柳 正規

一般財団法人デジタル文化財創出機構 設立と活動経緯

- 2010年3月 「デジタル文化財の創出と活用」
に関する有識者懇談会 開催
- 2010年5月 当機構設立
- 2011年1月 政策提言に向け、研究会活動開始
 - ①ビジョン研究
 - ②デジタル保存に係わる技術・管理体制
 - ③文化資源のデジタル化における標準化
 - ④デジタルアーカイブ著作権課題
 - ⑤文化情報の整備と活用戦略

日本の現状

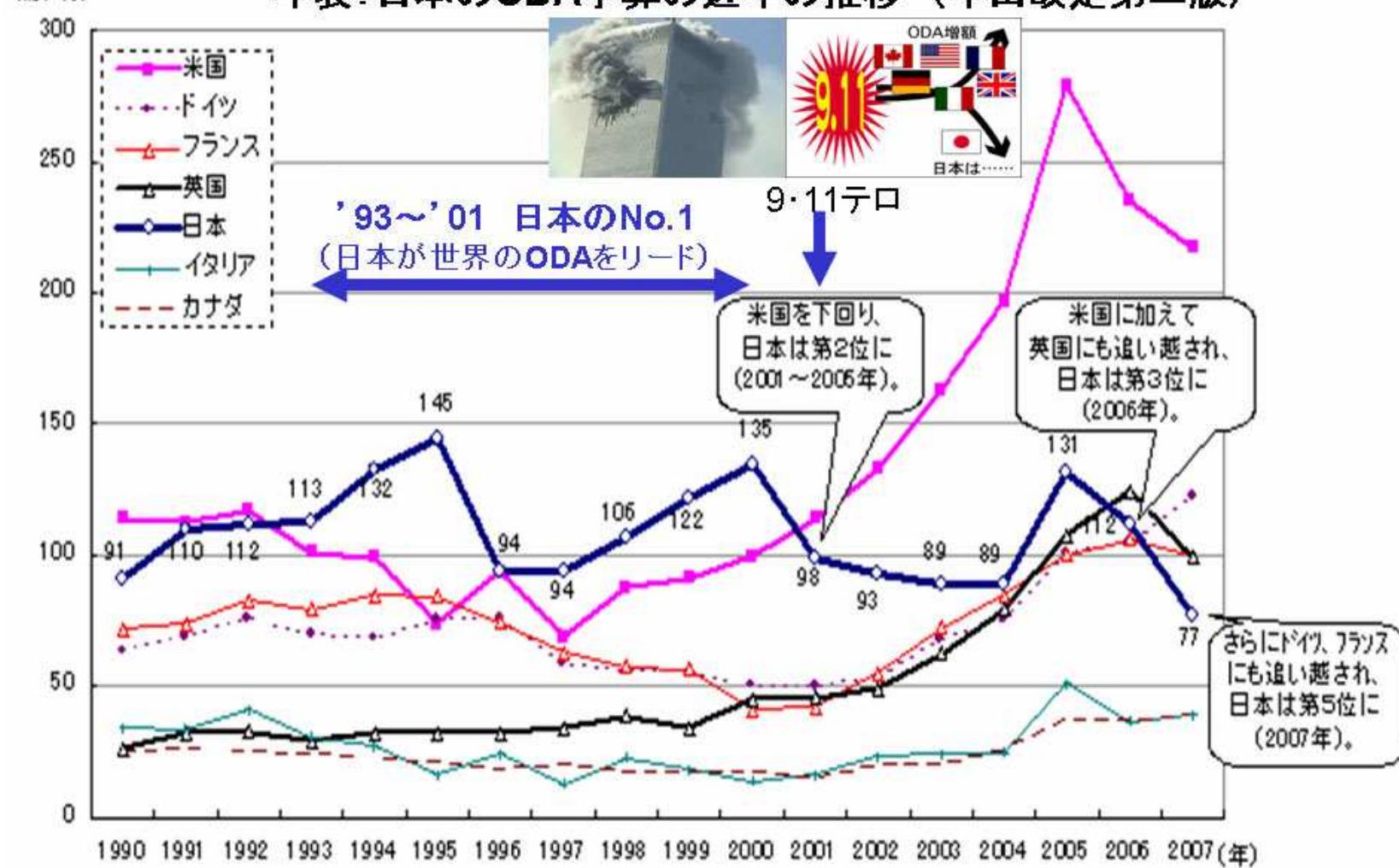
- 東日本大震災
- 福島原発事故
- 成熟社会
- 少子高齢社会
- 大きい、中くらい、小さい政府？
- 地方分権
- グローバル化

これからの日本

- 量的・相対的な縮小、ダウンサイ징
 - 経済
 - 人口
 - 海外援助(ODA)
- 質的な充実、質の向上
 - 等身大の自己認識
 - 文化
 - 幸福感

【先進各国のODA支出】

年表: 日本のODA予算の近年の推移 (早田改定第二版)



等身大の自己認識

- 人口: 10位
- GDP: 3位
- 国土: 68位
- 3000kmの長さを持つ国土
- 国土の68%が森林(自然林5割、人工林4割)
- 「埋蔵」文化財の宝庫

文化 = 枠組み

- ・文化とは
 - 完璧な状態への志向
 -
- ・文化とは人間集団のハード・ソフトを含めた環境の枠組み

枠組みのなかの
財・材・資源・ソフト・・・
の価値と連関性の向上



文化の充実・質の向上

日本の現状

- ・停滞期 = 安定期
- ・定期 = 安定した枠組み
- ・安定した枠組み



- ・文化を成育する好機

クロード・レビイ＝ストロース 【熱い社会】 【冷たい社会】

・熱い社会

- 社会内部に格差をうむ装置をもつ社会
- 教育格差、階級格差、収入格差…
- その軋轢と、ギャップを埋めようとするエネルギーによって社会全体を成長させる仕組み

・冷たい社会

- 祝祭の時空をもつ社会
- 祝祭によって日常(生産活動など)の秩序と価値を逆転して解放、ストレスを解消

【激しい文化】

【穏やかな文化】

- **激しい文化**

- 格差・摩擦を克服しながら普及・拡張する文化

- 普及のため普遍性を尊重する文化

- **穏やかな文化**

- ハレ(晴れ)とケ(穢)の両者によって歪みと過剰を解消・消化する文化

- 普遍性よりも集団内の共通認識を尊重

- 安定均衡した文化

〔蓄積型文化〕

蓄積型文化

石造建築

パンテオン

構築性

堅牢強固

永久

〔循環型文化〕

循環型文化

木造建築

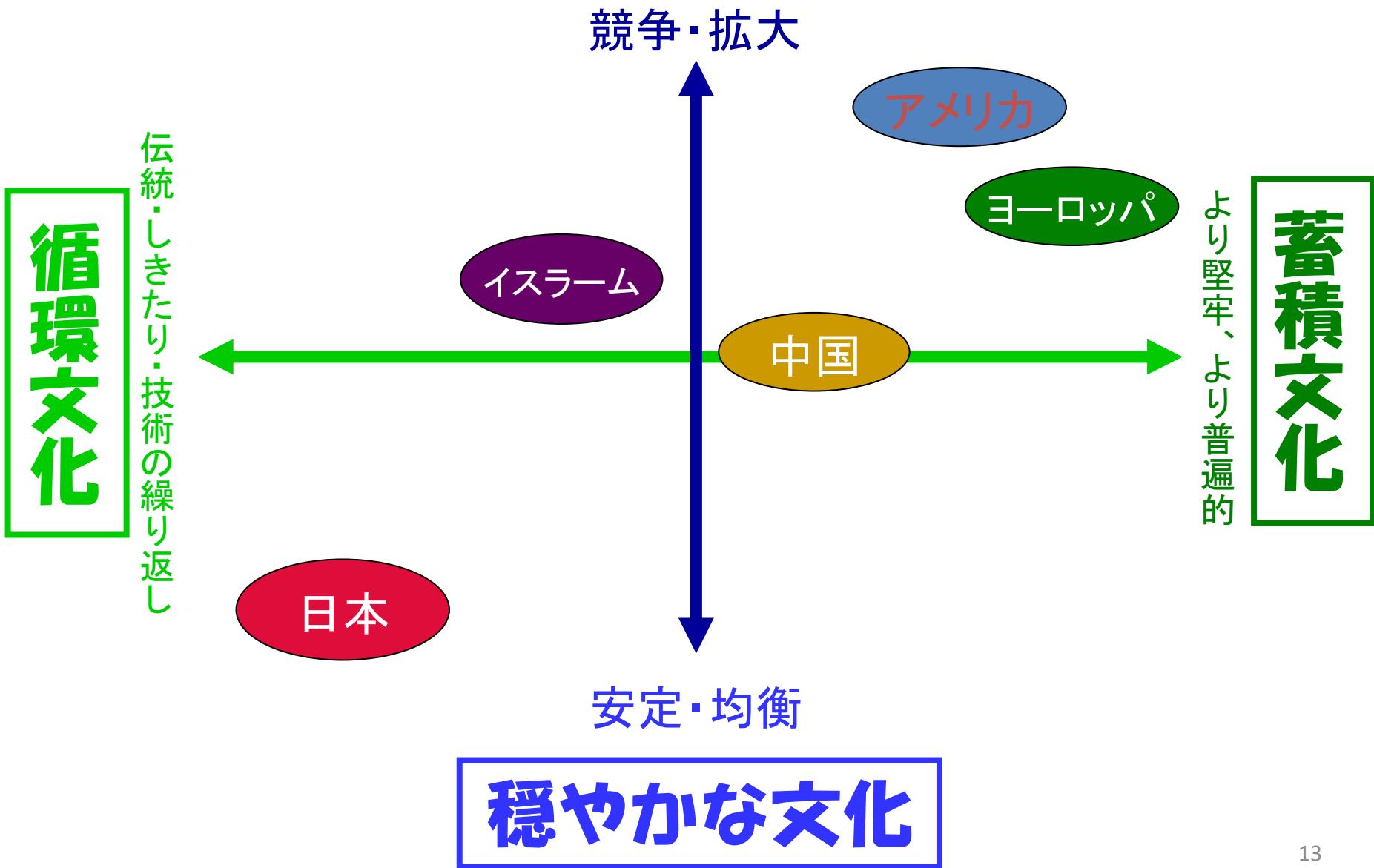
伊勢神宮

順応性

柔軟強靭

反復

激しい文化



激しい文化

競争・拡大

伝統・しきたり・技術の繰り返し

循環文化

伝統的
日本

より堅牢、より普遍的

蓄積文化

現在の
日本？

安定・均衡

穏やかな文化

(遠すぎる)

激しい文化

競争・拡大

伝統・しきたり・技術の繰り返し

循環文化

伝統と活力の
融合した文化

伝統的
日本

より堅牢、より普遍的

蓄積文化

安定・均衡

穏やかな文化

等身大の文化の確認

- 文化の棚卸し
- デジタル文化財
 - 拡大した有形文化財
 - 拡大した無形文化財
- 文化財のハザードマップ
 - 治安、自然災害、大気、文化認識、信仰…

政策提言に向け、

支援・応援サポーター
「100人委員会」

を組織化し活動を予定